



岐阜県の 献血者確保の取組み

はじめに

- 岐阜県は、国土のほぼ中央に位置しており、全国では数少ない内陸県のひとつ。県庁所在地である岐阜市を起点にすると、岐阜から名古屋へ東海道線で約 20 分、岐阜羽島から東京へ新幹線で約 2 時間、大阪へは約 1 時間と日本の三大都市に近く、便利な位置にある。
- 岐阜県の献血者数は年々減少しており、特に10代から30代までの献血者数が、平成26年度の約 2 万 8 千人に対して、令和 5 年度が約 1 万 9 千人と約 9 千人（約30%）減少している。このため、将来にわたり血液製剤を安定的に確保できるよう、県、市町村、血液センター及び関係機関が連携して若年層の献血推進に取り組むことが必要である。
- 令和 4 年度から、「未来へつなぐ献血プロジェクトぎふ」により10代から30代の若年層を対象とした普及啓発を強化しており、その取組みを紹介する。

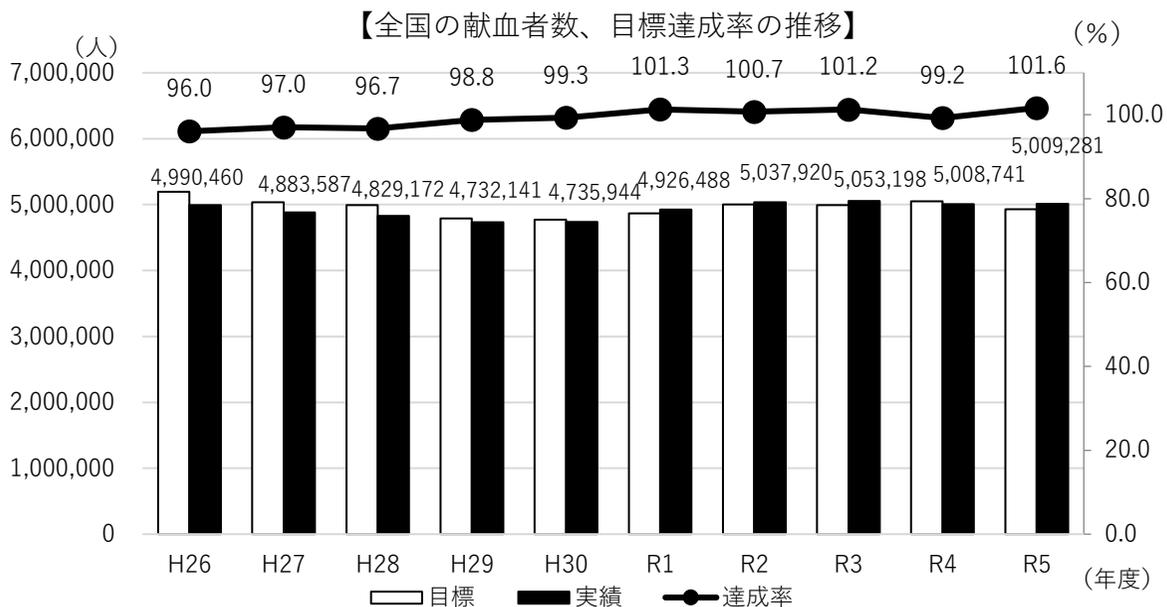
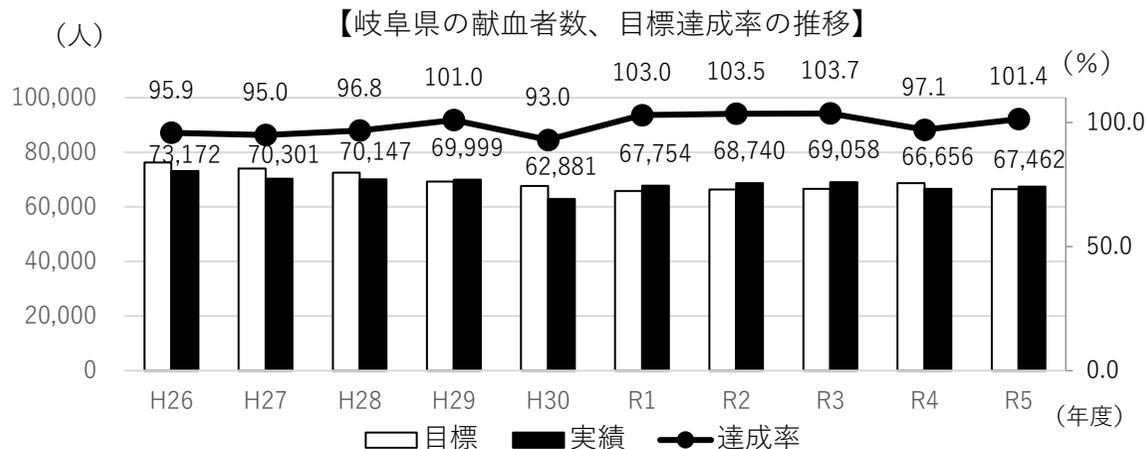


(CC-BY)

岐阜県公式ホームページより抜粋

岐阜県の献血状況

本県の献血者数は、平成26年度の73,172人に対して、令和5年度が67,462人と10年で5,710人（7.8%）減少している。



【岐阜県内で献血ができる場所】

- あかなべ献血ルーム（岐阜市茜部中島2-10）
- 岐阜献血ルーム アクティブG
（岐阜市橋本町1-10-1 JR岐阜駅アクティブG）
令和5年3月に、名鉄岐阜駅前にあった「新岐阜献血ルーム」が閉所し、JR岐阜駅隣接アクティブGの2階に「岐阜献血ルーム アクティブG」が新たに開所した。



- 献血バス
県内の市町村の施設・ショッピングモール等、様々な場所を巡回している。

《定期的に献血バスを配車する会場》

所在地	実施場所	曜日
岐阜市	マーサ21	第3日曜日
大垣市	アクアウォーク大垣	毎月1回
土岐市	イオンモール土岐	毎月1回

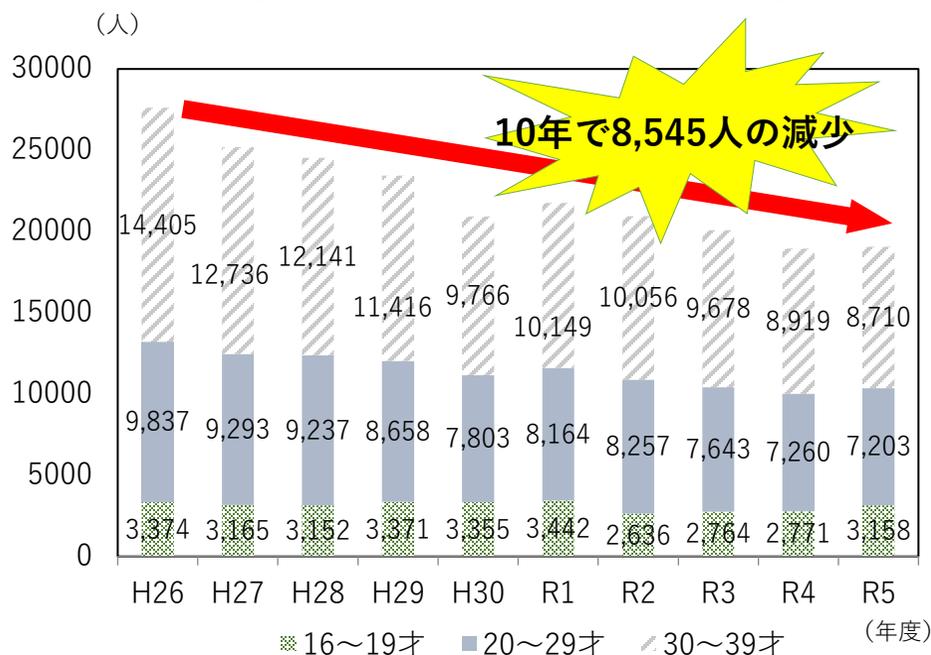
若年層の献血状況

献血者数全体に占める10代から30代の献血者数の割合が、平成26年度の約4割（37.7%）から令和3年度には3割を下回り、令和5年度には28.3%にまで減少している。

一方で40代から60代の献血者数が増加傾向にあり、令和3年度に7割を超え、令和5年度には71.7%とまで増加しており、血液の確保が40代以上の方に支えられている状況である。

献血できる年齢の上限が69歳であることを踏まえると、10年後、20年後には、現在の40代以上の多くの方が献血することが出来なくなり、このまま10代から30代の若年層献血者の減少が続けば、将来的に必要な血液を確保できなくなることが懸念される。

【10～30代の年代別献血者数（岐阜県）】



	総献血者数 (人)	献血者の うち 10～30代 (人)	全体に 占める 割合	献血者の うち 40～60代 (人)	全体に 占める 割合
H 2 6	73,172	27,616	37.7%	45,556	62.3%
H 2 7	70,301	25,194	35.8%	45,107	64.2%
H 2 8	70,147	24,530	35.0%	45,617	65.0%
H 2 9	69,999	23,445	33.5%	46,554	66.5%
H 3 0	62,881	20,924	33.3%	41,957	66.7%
R 1	67,754	21,755	32.1%	45,999	67.9%
R 2	68,740	20,949	30.5%	47,791	69.5%
R 3	69,058	20,085	29.1%	48,973	70.9%
R 4	66,656	18,950	28.4%	47,706	71.6%
R 5	67,462	19,071	28.3%	48,391	71.7%
対H26 増減	▲5,710	▲8,545 (▲30.9%)	-	+ 2,835 (+ 6.2%)	-

「未来へつなぐ献血プロジェクトぎふ」の取組み

学生と連携した献血啓発

○ 岐阜県学生献血ボランティア

令和6年9月末時点で、365人（大学生328人、高校生37人）と6団体が登録

（参考：令和6年3月末時点で、404人（大学生347人、高校生57人）と5団体が登録）



- ・献血会場での呼びかけ活動に参加
- ・学生献血ボランティア集会へ参加し、学生主催のキャンペーンについて企画・意見交換、資材製作を実施（毎月第一土曜日）
- ・県の献血啓発イベントの運営に参加
- ・インスタグラムアカウントで献血情報や健康管理に関する記事を投稿



献血会場に大学生が運営するキッチンカーを設置し、献血者に対して学生が考案した鉄分豊富なお菓子やドリンク等を提供

gifu_mirai_kenketu



265
投稿

1,632
フォロワー

52
フォロー中

未来へつなぐ献血プロジェクトぎふ【岐阜県公式】

公共・行政サービス

「未来へつなぐ献血プロジェクトぎふ」が始動しました！
10代から30代のみなさん、献血を「自分ごと」として考えてみませんか。

「#未来へつなぐ献血プロジェクトぎふ」をつけて一緒に盛り上げよう！

学生献血ボランティアも募集しています！

gifu-mirai-kenketsu.pref.gifu.lg.jp

学生から原稿提供された記事をInstagramの県公式アカウントで紹介

焼肉ピビンバ丼のレシピ

【材料（1人分）】

・豚バラ肉	50g	・小松菜	30g
・キムチ	25g	・もやし	30g
・ニンニク	2g	・にんじん	25g
・酒	7g	・塩	0.5g
・しょうゆ	9g	・しょうゆ	3g
・みりん	9g	・ごま油	2g
・砂糖	3g	・ごま	2g
		・ねぎ	2g

【作り方】

- ①豚バラ肉は3cm幅に、にんじんと小松菜やすしい大きさに切る。
- ②油にお湯を沸かし、もやしを茹で、焼いた松菜を茹でる。
- ③②の粗熱がとれたら、塩、しょうゆ、ごま油を加えて炒める。
- ④フライパンで、豚バラ肉を中火で炒めながら、酒とキムチを入れ、強火で焼く。
- ⑤ご飯に③と④をのせ、ごまをふり、ねぎをのせる。



「未来へつなぐ献血プロジェクトぎふ」の取組み

タレントを起用した献血啓発

岐阜県出身「堀未央奈」さんを起用した献血PRを7月から開始

- ・2013年に乃木坂46に加入。センターを務める。2021年3月に卒業し、現在はタレントとしてマルチに活動中。
- ・2019年に日本赤十字社「みんなの献血」イメージキャラクターの一人として献血を呼びかけた。
- ・インスタグラムのフォロワーは約60万人。20代～30代がフォロワーの8割を占める。

○ポスターなどの広告掲出



○駅利用者などへの認知獲得のための広告展開

- ・JR東海在来線車内中吊り広告
 - ・JR岐阜駅構内にポスター、フラッグバナー
 - ・駅改札へのステッカー
- 高校、大学、専門学校、献血サポーター企業・団体等
約500機関にポスターを送付

○オリジナルグッズの配布



県内の献血会場限定で、10～30代の献血者に対してオリジナルグッズを配布
※7月から配布開始。
→10代の献血者数が、前月比で212%増加

人気イラストレーターヨシフクホノカさんが描いた堀未央奈さんのオリジナルステッカー

○啓発イベントの開催



【概要】

日時 令和6年6月4日 13:30～14:45
場所 東海学院大学 図書館大ホール
出席者 堀未央奈、県学生献血ボランティア

【結果】

- ・県の事業であることやタレントの話題性によりTV2番組で放映、新聞5誌へ掲載された。
 - ・WEBでも70記事以上に掲載され、広い露出に繋がった。
- ※9月、1月にショッピングモールで啓発イベント開催を企画
若年層に対し、更に献血への協力を呼びかける。

「未来へつなぐ献血プロジェクトぎふ」の取組み

献血会場等でのイベント

○ショッピングモールで献血啓発イベントを開催

タレントのトークショーや献血に関するクイズ大会など、献血への理解促進につながるイベントを献血会場となるショッピングモールで実施。イベント運営（受付などの来場者対応）や献血の呼びかけ活動に県学生献血ボランティアが参加。



○「第60回献血運動推進全国大会」でのPRブース出展



【第60回献血運動推進全国大会】

日時 令和6年7月18日 13:20~15:40
場所 長良川国際会議場（岐阜市）

- ・令和4年度以降作成した県オリジナルグッズを展示、大型ビジョンではタレントの献血啓発SNS広告（4種）を放映。
- ・来場者配布用に県及び血液センター作成のリーフレットやチラシを配架。
- ・県内外から約1,500名が参加するイベントであることから、県公式Instagramの新規フォロワー獲得を目指し、県産品が当たるフォロワーキャンペーンも大会開催時期に合わせて実施。



「未来へつなぐ献血プロジェクトぎふ」の取組み

県赤十字血液センター事業

○「献血で愛の花を咲かせよう」プロジェクト



岐阜献血ルーム アクティブGでの
高校生の献血者数



※令和5年3月までは旧・新岐阜献血ルームでの献血者数

- ・ JR岐阜駅直結の商業施設・アクティブG内にある「岐阜献血ルーム アクティブG」では、平成29年から「献血で愛の花を咲かせよう」プロジェクトを継続。
- ・ 高校生が献血した時に自分の学校の木(台紙)に花型のシールを貼ることで、高校生の献血実績を可視化。
- ・ 電車通学する学生が立ち寄りやすい立地の献血ルームで、令和5年度の高校生の献血者数が増加。

○ちいくけんけつ「血育かるた」セミナー



東海北陸ブロック血液センターの若手職員を中心に制作された献血啓発用のかるたを使って、地元小学生を対象に献血セミナーを開催。

○若年がん啓発イベントへの参加

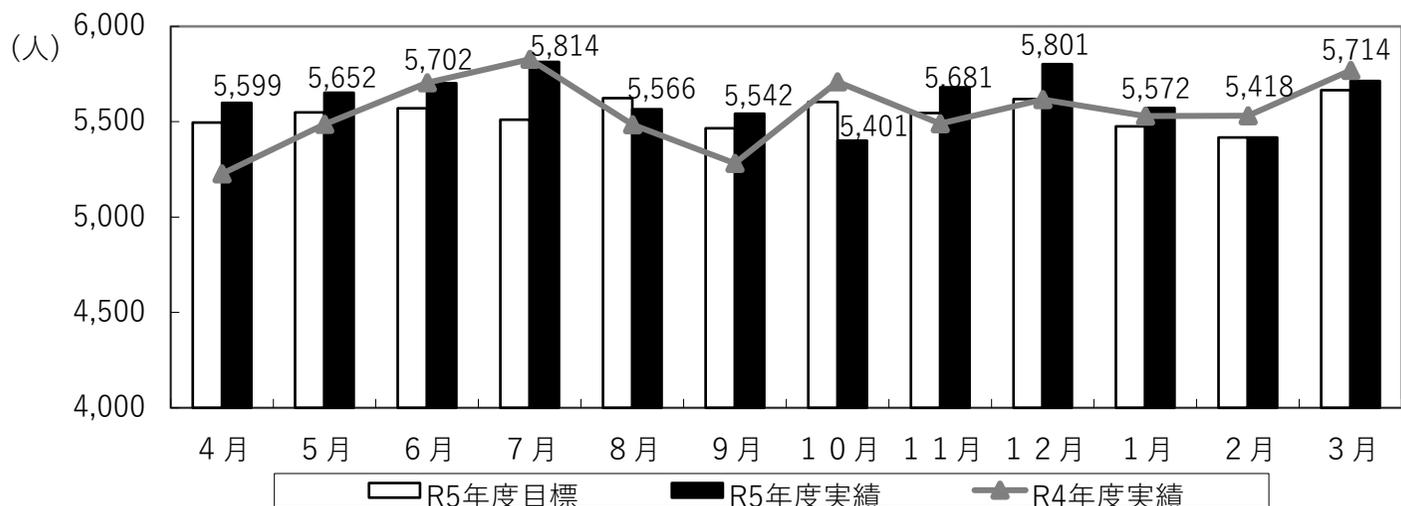


医療機関が企画運営する「AYA WEEK 2024 GIFU」に学生が参加し、AYA世代医療に携わる医療関係者との交流を図り、血液が必要とされる医療場について学んだ。

令和5年度献血実績

令和4年度と比較して、献血者数は若干上回り（66,656→67,462人、+806人・101.2%）、そのうち10～30代の若年層の献血者数も昨年度を上回った（18,950→19,071人、+121人・100.6%）。

JR岐阜駅へのポスター掲出、SNS等を活用した広告の配信、10～30代の献血者を対象にタレントを起用した献血啓発の取組みが献血者数の増加につながったと考える。



【月別の献血者数】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R5実績	5,599	5,652	5,702	5,814	5,566	5,542	5,401	5,681	5,801	5,572	5,418	5,714	67,462
R5目標	5,496	5,549	5,571	5,511	5,623	5,465	5,603	5,545	5,618	5,476	5,417	5,666	66,540
達成率	101.9%	101.9%	102.4%	105.5%	99.0%	101.4%	96.4%	102.5%	103.3%	101.8%	100.0%	100.8%	101.4%
R4実績	5,227	5,486	5,704	5,828	5,484	5,282	5,710	5,489	5,617	5,529	5,531	5,769	66,656
対前年比	107.1%	103.0%	100.0%	99.8%	101.5%	104.9%	94.6%	103.5%	103.3%	100.8%	98.0%	99.0%	101.2%

【10～30代の献血者数】

R5実績	1,579	1,661	1,655	1,804	1,542	1,525	1,528	1,642	1,658	1,505	1,441	1,531	19,071
R4実績	1,557	1,539	1,606	1,859	1,516	1,416	1,661	1,604	1,604	1,445	1,512	1,631	18,950
対前年比	101.4%	107.9%	103.1%	97.0%	101.7%	107.7%	92.0%	102.4%	103.4%	104.2%	95.3%	93.8%	100.6%

おわりに

- 「第60回献血運動推進全国大会」では、日本赤十字社名誉副総裁である秋篠宮皇嗣妃殿下のご臨席のもと、献血功労者の表彰や、輸血治療を受けた方のご家族による体験発表等により、献血の重要性を改めて発信したところ。
- 今後は、これまで高校生や大学生を対象に行っていた献血セミナーを小中学校でも開催するほか、大型商業施設での啓発イベントを継続するなど、引き続き、若年層に対して重点的に献血を促す取組みを進めていく。